

試験結果報告書

殿

工事名：

試験の種類： 碎石 5-2.5

試験年月日： 令和6年2月26日

北九州市八幡西区大字畑576番地の3

株式会社 西村碎石所 大谷工場



写

この写しは原本と相違ないことを
証明致します

碎石 5-2.5

年 月 日

北九州市小倉南区大字呼野1035-5

株式会社 西村碎石所



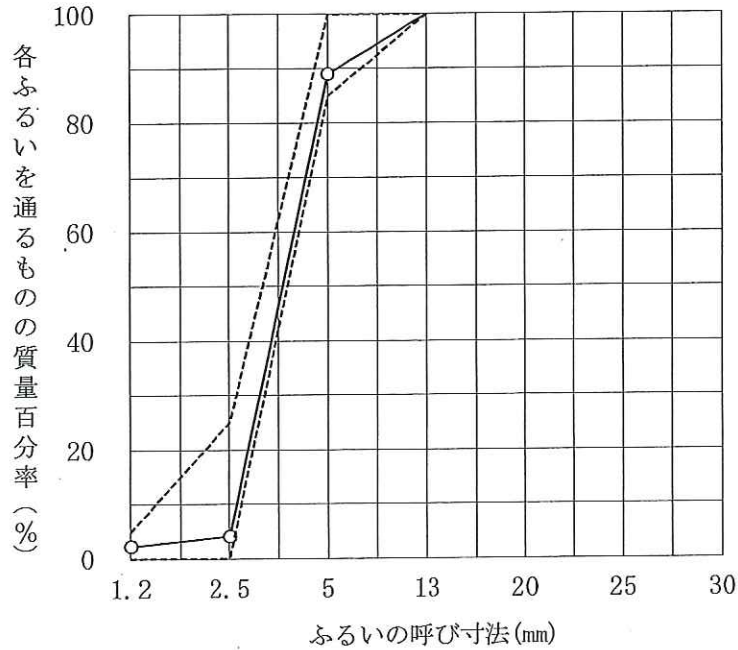
道路用碎石試験成績書

2024年2月26日

種類	単粒度 S-5 (7号)	原石の種類	硬質砂岩
製造会社名	株式会社西村碎石所	採取地の地名・地番	北九州市八幡西区大字畑字丸尾551外25筆
工場名	大谷工場	試験実施日	物理試験： 2024年2月
試験項目 (物理試験)	規格値	試験値	備考
絶乾密度 (JIS A 1110)	2.45g/cm ³ 以上	2.70	表乾密度 (2.72) ※ 密度・吸水率・すりへり減量及び軟石量の試験値は、単粒度 S-13 (6号) の試験結果による。
吸水率 (JIS A 1110)	3.0%以下	0.53	
すりへり減量 (JIS A 1121)	35%以下	14.6	
安定性 (JIS A 1122)	12%以下	0.5	
軟石量 (JIS A 1126)	5.0%以下	2.9	
単位容積質量 (JIS A 1104)	—	1.51kg/ℓ	
粘土塊量 (JIS A 1137)	0.25%以下	0.0	

ふるい分け試験 (JIS A 1102)

	ふるいの呼び寸法	各ふるいを通るものの質量百分率 (%)
ふるい分け試験結果	25	
	20	
	13	100
	5	89
	2.5	4
	1.2	2

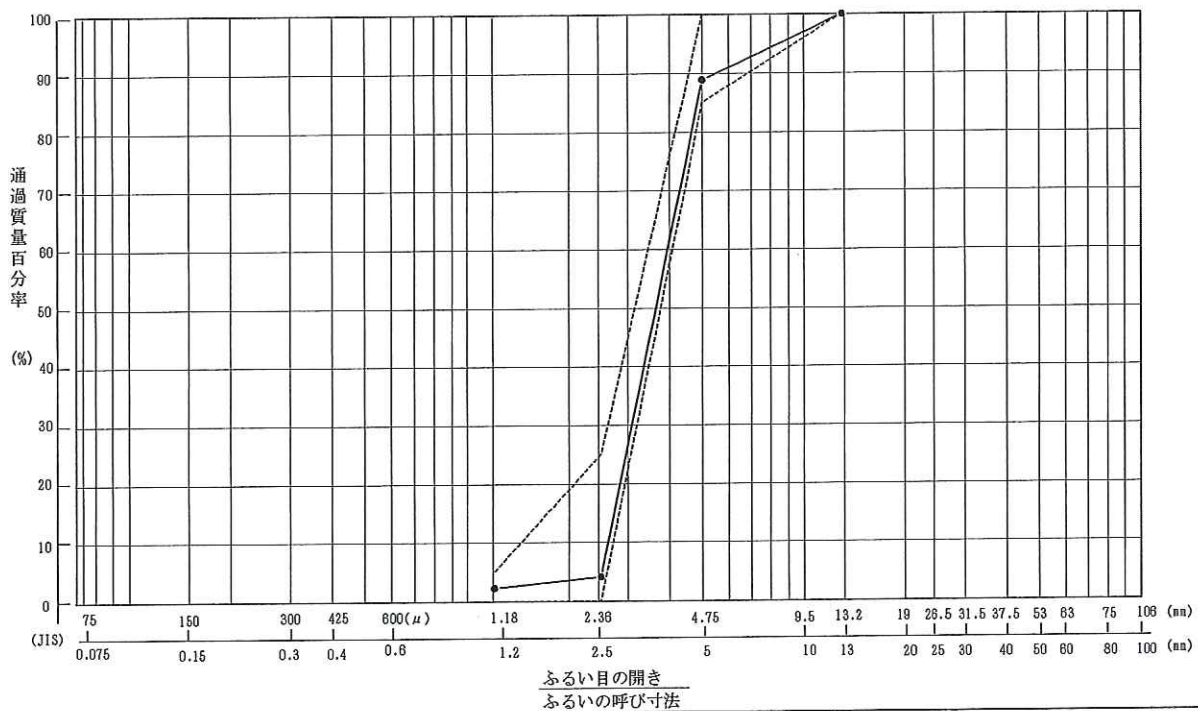


作成者

担当部署： 品質管理課

担当者名： 福田照人

JIS A 1102		骨材のふるい分け試験				
試料番号		試験年月日			2024年2月2日	
調査名・目的		単粒度 S-5 (7号)		使用場所		
試料採取場所		製品ヤード		試験者 福田照人		
試験前の試料の質量		779.4 g				
試験後の試料の質量		779.3 g				
試験前後の質量の差		0.0 % (1%未満)				
ふるいの呼び寸法 (mm)	各ふるいにとどまる量		各ふるいにとどまる量の累計		ふるいを通る量 (g)	粒度範囲 (%)
	(g)	(%)	(g)	(%)		
40						
30						
25						
20						
13	0	0	0	0	100.0	100
5	86.4	11.1	86.4	11.1	88.9	85~100
2.5	660.8	84.8	747.2	95.9	4.1	0~25
1.2	14.5	1.9	761.7	97.7	2.3	0~5
0.6						
0.4						
0.3						
0.15						
0.075						
受皿	17.6	2.3	779.3	100.0	0.0	
計	779.3	100.0				



備考

粗骨材の密度及び吸水率試験

試料採取日 2024年2月1日 試験年月日 2024年2月5日

試験で用いた水の温度 20℃ 試験者 福田照人

		試験回数	1	2
m1 : 表面乾燥飽水状態	①	ρ_w	0.9982	0.9982
における試料の質量 (g)	②	m1	2116.4	2095.3
m2 : 試料とかごの水中の	③	$m1 \times \rho_w$	2112.6	2091.5
見掛質量 (g)	④	m2	1688.7	1676.2
m3 : 金網かごの水中の	⑤	m3	350.1	350.1
見掛質量 (g)	⑥	$② - (④ - ⑤)$	777.8	769.2
m4 : 絶対乾燥状態の	⑦	$D_s = ③ \div ⑥$	2.72	2.72
質量 (g)	表乾密度の平均値 (g/cm ³)		2.72	
Ds : 表面乾燥飽水状態に	表乾密度の平均値からの差 (g/cm ³)		0.00	0.00
おける密度 (g/cm ³)	⑧	m4	2,105.3	2,084.3
Dd : 絶対乾燥状態に	⑨	$m4 \times \rho_w$	2,101.5	2,080.5
おける密度 (g/cm ³)	⑩	$D_d = ⑨ \div ⑥$	2.70	2.70
Q : 吸水率 (質量分率) (%)	絶乾密度の平均値 (g/cm ³)		2.70	
ρ_w : 試験温度における	絶乾密度の平均値からの差 (g/cm ³)		0.00	0.00
水の密度 (g/cm ³)	⑪	$Q = \frac{② - ⑧}{⑧} \times 100$	0.53	0.53
		吸水率の平均値 (%)	0.53	
		吸水率の平均値からの差 (%)	0.00	0.00

※ 水の密度は、試験温度に応じて次の値を用いる。

温度 (°C)	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
密度 (g/cm ³)	0.9991	0.9989	0.9988	0.9986	0.9984	0.9982	0.9980	0.9978	0.9975	0.9973	0.9970

※ 試験値は、平均値からの差が、密度の場合は0.01 g/cm³以下、吸水率の場合は0.03%以下でなければならない。

※ 試料は、単粒度S-13(6号) による。

ロサンゼルス試験機による 粗骨材のすりへり試験報告書

2024年2月26日

試験年月日
2024年2月7日

試験者 福田照人

試料採取箇所	製品ヤード	試料採取方法	4分法
試料採取日	2024年2月1日	試料の試験前における粒度	13~10 10~5
骨材の呼称	単粒度 S-5(7号)	粒度区分	C
試料番号	—	玉の個数及び全質量	鋼球8個 3329g
試料質量	40kg	円筒の回転数	500回

摘要	測定値	
① 試験前の試料の質量 (g)	13~10	2,500
	10~5	2,500
	合計	5,000
② 試験後の1.7mmふるいに残った試料の質量 (g)	4,271	
③ すりへり損失質量①-② (g)	729	
④ すりへり減量 (%)	14.6	

$$\text{すりへり減量 (\%)} = \frac{\text{すりへり損失質量}}{\text{試験前の試料の質量}} \times 100$$

※ 試料は、単粒度S-13(6号)による。

骨材の安定性試験報告書

2024年2月26日

試験年月日
2024年2月16日

試験者 福田照人

試料採取箇所	製品ヤード	試料採取方法	4分法
試料採取日	2024年2月1日	試験溶液の種類	硫酸ナトリウム
骨材の呼称	単粒度 S-5 (7号)		
試料番号		備考	5サイクル
試料質量	40kg		

通るふるい (mm)	とどまるふるい (mm)	①各群の質量分率 (%)	②試験前の各群の質量 (g)	③試験後の各群の質量 (g)	④各群の損失質量分率 $1-\text{③}/\text{②}\times 100$ (%)	⑤骨材の損失分率 $\text{①}\times\text{④}/100$ (%)
15	10	0	—	—	—	—
10	5	8	100.0	99.5	0.5	0.0
5	2.5	89	100.0	99.4	0.6	0.5
2.5	1.2	3	—	—	0.6	0.0
1.2	0.6	0	—	—	—	—
0.6	0.4	0	—	—	—	—
0.4	0.3	0	—	—	—	—
合計		100	—	—	—	0.5

備考

$$\text{各群の損失質量分率(\%)} = \left(1 - \frac{\text{試験前の試料の質量(g)}}{\text{試験後の試料の質量(g)}} \right) \times 100$$

$$\text{骨材の損失質量分率(\%)} = \frac{\text{各群の質量分率(\%)} \times \text{各群の損失質量分率(\%)}}{100}$$

ひっかき硬さによる軟石量試験報告書

2024年2月26日

試験年月日
2024年2月9日

試験者 福田照人

試料採取箇所	製品ヤード	試料質量	40kg
試料採取日	2024年2月1日	試料採取方法	4分法
骨材の呼称	単粒度 S-5 (7号)		
試料番号		備考	

とどまる ふるい (mm)	通る ふるい (mm)	①各群の 質量分率 (%)	②試験前の 各群の		③各群の軟石		④各群の軟 石質量分率 ③/②×100 (%)	⑤各群の軟 石個数分率 ③/②×100 (%)	⑥骨材の 軟石分量率 ①×④/100 (%)
			質量 (g)	個数 (個)	質量 (g)	個数 (個)			
40	30	—	—	—	—	—	—	—	—
30	25	—	—	—	—	—	—	—	—
25	20	—	—	—	—	—	—	—	—
20	15	4	—	—	—	—	2.9	—	0.1
15	10	96	200.7	73	5.8	2	2.9	1.0	2.8
合計		100	200.7	73	5.8	2	—	—	2.9

※ 試料は、単粒度S-13(6号) による。

骨材の単位容積質量及び実績率試験報告書

2024年2月26日

試験年月日
2024年2月5日

試験者 福田照人

試料採取箇所	製品ヤード	試料採取方法	4分法
試料採取日	2024年2月1日	試料の詰め方	棒突き
骨材の呼称	単粒度 S-5 (7号)	試料番号	
試料質量	100kg	合否判定	合格

摘 要	第1回測定	第2回測定	平均値
① 容器の容積 (ℓ)	10.0	10.0	—
② 容器中の試料の質量(g)	15,110	15,145	—
③ 単位容積質量 (kg/ℓ)	1.51	1.51	1.51
単位容積質量の平均値からの差 (kg/ℓ)	0.00	0.00	—
④ 絶乾密度 (kg/cm ³)	2.70	2.70	—
⑤ 実績率 (%)	55.9	55.9	55.9

※ 単位容積質量の平均値からの差は、0.01 kg/ℓ以下でなければならない。

粘土塊量試験報告書

2024年2月26日

試験年月日

2024年2月9日

試験者 福田照人

試料採取箇所	製品ヤード	試料採取方法	4分法
試料採取日	2024年2月1日		
骨材の呼称	単粒度 S-5 (7号)		
試料質量	40kg	備考	

摘 要	1 回 目	2 回 目	平均 値
① 試験前の質量 (g)	1,128.2	1,167.3	—
② 試験後2.5mmふるいにとどまったものの質量 (g)	1,127.9	1,166.8	—
③ 粘土塊の質量 (g) ①-②	0.3	0.5	—
④ 粘土塊量 (%) $\frac{\text{③}}{\text{①}} \times 100$	0.0	0.0	0.0
平均値との差 (%)	0.0	0.0	—

※ 粘土塊量の平均値からの差は、0.2%以下でなければならない。